ワークスタディプログラム奨学制度細則

(目的)

第1条 この細則は、湘北短期大学奨学制度基本規程第2条にもとづき、次条以下を内容とする奨学制度（以下「本奨学制度」という。）について定める。なお、この細則で使用する語句の定義は、この細則で定めるものを除き、湘北短期大学奨学制度基本規程の定義と同じとする。

(本奨学制度の名称)

第2条 本奨学制度の名称は、「ワークスタディプログラム（WSP）奨学制度」とする。

(本奨学制度の目的)

第3条 本奨学制度は、経済的理由により修学困難な状況にある学生に対し、本学授業の空き時間を利用して本学内の教育支援活動に従事する機会を与え、これに従事した場合に学修奨励金を支給することにより、修学支援を行うことを目的とする。

(本奨学制度の対象)

第4条 本奨学制度は、本学の教育支援活動に従事することによっても、勉学に支障をきたさないと判断される学生のうち、次の各号のすべてに該当する学生を対象とする。

- 一 主たる家計支持者（父母または父母に代わって 計を支えている者）の前年の収入金額が、給与所得者の場合は源泉徴収票の支払金額が841万円以下、給与所得者以外の場合は確定申告書等の所得金額が355万円以下であることを原則とし、学納金納入に際し、「学納金納入猶予願い」を提出している（する）もしくは「家計が窮迫している状況を指導教員に相談している」等、経済的支援を必要としていること
 - 二 日本学生支援機構の奨学金（給付型・貸与型）を受けていること又は教育ローン等学業継続のための借入があること
 - 三 学修に意欲的であり、勤勉で、卒業・進級について懸念のないこと
 - 四 WSPの趣旨を理解し、真摯な態度で教育支援活動に従事できること
 - 五 月間の教育支援活動従事時間が30時間から50時間程度、計画的かつ定常的にとれること（ただし、状況により長期休暇中に集中して行うことも可とする。）
- 2 前項の規定にかかわらず、学業継続のため支援を必要とする特別の事情がある場合には、学長の承認を得て対象とすることができる。
- 3 本奨学制度を適用する者（以下「WSP 奨学生」という。）の員数は、募集の都度、学長が決定する。

(本奨学制度の内容)

第5条 学修奨励金の金額は、原則として、教育支援活動従事時間1時間に対し、神奈川県最低賃金の額に金200円を加算した額を基本額とする。ただし、半期(6ヶ月間)の学修奨励金合計額は、概ね300,000円とする。

(選考委員会の特例)

第6条 WSP 奨学生の選考は、湘北短期大学奨学制度基本規程第4条にかかわらず、事務局長、総務部長、教務・学生部長及び学長が指名する教職員で構成するWSP 選考委員会が行う。

(選考)

第7条 WSP 奨学生の募集は、毎年4月と10月に行う。

2. WSP 奨学生に応募する学生は、所属する学科長の推薦を受けなければならない。
3. 学科長は、WSP 選考委員会に前項の学生を推薦し、WSP 選考委員会は、面接と書類選考を通じて、WSP 奨学生の候補者を選出する。
4. WSP 選考委員会は、候補者の選考にあたって、経済的支援の必要性、教育支援活動への適性などを総合的に勘案することとする。
5. WSP 選考委員会は、選出したWSP 奨学生の候補者を学長に推薦し、学長は推薦された候補者からWSP 奨学生を決定する。
6. 決定の通知は、学生本人と学科長に対して行う。なお、WSP 奨学生になれなかった学生であっても、次回以降のWSP 奨学生の募集に応募することができる。

(証憑の提出)

第8条 WSP 奨学生は、主たる家計支持者の前年の収入金額を証明する源泉徴収票又は確定申告書の写し若しくは本学が定める必要書類等を本学に提出しなければならない。ただし、同年度で継続してWSP 奨学生に決定した場合は、当該書類の提出を省略することができる。

(教育支援活動従事期間)

第9条 WSP 奨学生の教育支援活動への従事期間は、半期(6ヶ月間)単位とし、WSP 奨学生と本学との間で締結する雇用契約書(雇入れ通知書)をもって定める。ただし、同一の学生が在学中に複数回WSP 奨学生になることを妨げるものではない。

(教育支援活動)

第10条 WSP 奨学生が従事する教育支援活動は、その内容及び本人の希望、適性、従事条件等を勘案して、総務部長が決定する。

2. 学修奨励金は、時給制を原則とするが、本学が特に認める教育支援活動については、月給制とすることができる。
3. WSP 奨学生は、教育支援活動を担当する教職員の監督、指示のもとで、必要とされる補助的業務に従事する。
4. WSP 奨学生の教育支援活動への従事にあたっては、本人の履修状況、単位の取得状況並びに教育支援活動への従事状況等を確認したうえで、修学上必要と認められる場合は、教育支援活動への従事を制限することがある。
5. WSP 奨学生の教育支援活動への従事に関する条件の詳細は、雇用契約書(雇入れ通知書)により明示するものの外は、法人の非常勤職員就業規則の規定を適用する。
6. WSP 奨学生は、本学の他の奨学制度を利用することを妨げない。

(解除)

第 11 条 WSP 奨学生が、第 4 条第 1 項に定める WSP 奨学生の対象者として適当ではないと認められたときは、本学は当該 WSP 奨学生と締結した雇用契約を解除することができる。

(事務取扱)

第 12 条 WSP 奨学生に関する事務は、総務部が行う。

(改廃)

第 13 条 この細則の改廃は、教授会及び常勤理事会の議を経て学長が定める。

附則

1. この細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
1. この細則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。